

施策番号	0302		
施策名	課題に直面する青少年の総合的支援の推進		
概要	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営むうえでの課題に直面する子ども・若者に対して、個々の状況に応じた総合的・継続的な支援を推進する。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	3 青少年の成長と参加		
施策に関する主な分野別計画等	はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプランー第3次京都市青少年育成計画ー		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 就職等進路決定者数(人)	a	b	98	141	108	130.6%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-		
3 -	-	-	-	-	-	-	-		
4 -	-	-	-	-	-	-	-		
5 -	-	-	-	-	-	-	-		
6 -	-	-	-	-	-	-	-		
		a	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 青少年がニート（仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと）、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。	8	50	178	136	64	436	d	
	1.8%	11.5%	40.8%	31.2%	14.7%			
2 -								
3 -								
4 -								
5 -								
市民生活実感調査総合評価								d

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 課題に直面する青少年という対象者が限られた施策であり、市民の生活実態に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						25年度	C
(原因分析) 【客観指標】 支援機関の体制強化に伴い、一人ひとりに、よりきめ細やかな支援を行うことができたことやハローワークとの連携の下で開催した出前相談会の効果等により増加につながり、b→a評価に改善した。 【市民の実感】 課題に直面した時の相談機関等の情報が一般の方に認知されていないことなどが原因であると考えられ、前年度に引き続きd評価と低い評価が続いている。						24年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		25年度決算額	26年度予算額		
1	若者サポートステーション	7,316	7,472	良い	文化市民局
2	子ども・若者総合支援事業	61,492	63,626	かなり良い	文化市民局
3	登録サポーターの活用事業	5,208	5,291	良い	文化市民局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 課題に直面する支援対象者への支援については、今後も引き続き、他の支援機関との連携強化を図るとともに、青少年活動センターとの連携事業や就労体験事業などをより充実し、支援対象者の就労意識の醸成を図るなど、支援対象者の課題に応じた支援を推進していく。
- サポステ・学校連携推進事業（厚生労働省認定事業）により、進路の決まっていない学校中退者等をサポステ（京都若者サポートステーション）に確実に結び付け、切れ目のない支援を通じて早期の自立や進路決定を促す。
- 支援を必要とする潜在層が相談機関等につながるよう、リーフレットや冊子の活用により、相談機関等の周知・啓発に努める。

施策名	0302	課題に直面する青少年の総合的支援の推進									
指標名	就職等進路決定者数（人）										
担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	222-3089								
1 指標の説明											
京都若者サポートステーションの支援により，就職，進学，復学，職業訓練受講など，進路決定した者の数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
課題に直面する青少年，とりわけ若年無業者への職業的自立支援の取組成果を示す指標			出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度					
数値	98	141	43人増	108	国との間で設定した目標値（平成23年度地域若者サポートステーション事業に係る企画書で設定）に準拠	130.6%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度		根拠					
数値											
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果						
達成度が a：100%以上 b：80%以上 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			達成度100%以上をaとし，以下20%ごとに均等に区分することで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>a</td> </tr> </table>	24	25	26	a	b	a
24	25	26									
a	b	a									